

## 学校通信

# 陽光



令和5年度 11月号

多可町立八千代中学校

令和5年11月1日（水）発行

<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>

電話 37-0049

文責：校長 神崎



## 想いを届ける・・・

学校長 神崎進吾



先日の文化祭では、大勢の保護者や地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。体育祭は雨天順延のため平日開催になったこともあり、今回の文化祭でより多くの方に、生徒たちの頑張る姿を見ていただくことができ、大変、嬉しく思います。

文化祭の冒頭、挨拶の中で、私は次のように生徒たちに呼びかけました。

「今回の文化祭は、コロナ明けの文化祭。実に4年ぶりの入場制限のない文化祭です。久しぶりに大勢のお客さんが見えになります。それぞれこれまで一生懸命、練習してきたと思います。緊張するとは思いますが、是非、皆さんのその頑張りやその想いを、弁論や合唱、演奏に乗せて、お客さんに届けてほしい。そう、今日はみんなの想いを、見に来てくださった皆さんに届ける日です。「彩虹（いろいろ）」のスローガンのもと、みんなで心をつにして、みんなでその想いを届ける、そんな素敵な、あったかい文化祭をみんなで創り上げましょう。」

きっと、弁論を通して、合唱を通して、有志演技を通して、吹奏楽の演奏を通して、生徒たちの想いは、ご来場いただいた保護者や地域の皆様に届いたことと思います。

さて、いずれの弁論、合唱、演技、演奏等も心に残るものでしたが、私が一番心に残ったのは、「全校合唱」の「いのちの歌」です。「全校一心」の校訓のとおり、八千代中の生徒の心一つに、みんなで想いのこもった合唱を創り上げてくれました。素晴らしかったです。この曲の魅力は、しっとりとしたメロディ、そして、なんといってもあの歌詞です。心に染み入るとても素敵な歌詞です。ぜひ、今一度、この曲の歌詞にこめられたメッセージをかみしめていただければ、嬉しいかぎりです。

### 「いのちの歌（歌詞）」

生きてゆくことの意味問いかけるそのたびに  
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ  
この星の片隅でめぐり会えた奇跡は  
どんな宝石よりもたいせつな宝物  
泣きたい日もある絶望に嘆く日も  
そんなときそばにいて寄り添うあなたの影  
二人で歌えば懐かしくよみがえる  
ふるさとの夕焼けの優しいあのぬくもり

本当にだいじなものは隠れて見えない  
 ささやかすぎる日々の中にかげがえない喜びがある  
 いつかは誰でもこの星にさよならを  
 するときに来るけれど命は継がれてゆく  
 生まれてきたこと育ててもらえたこと  
 出会ったこと笑ったこと  
 そのすべてにありがとう  
 この命にありがとう

「人と人との出会い、縁、そして共に生きていくことの尊さ」を歌った本曲。誰しも生命に限りがある。だからこそ、現在を懸命に生きたい。すべての出逢いに、ありがとう。シンプルだけど強いメッセージが、心に染み入ります。思わず、自分の大切な人と重ね合わせてしまいますね……。

令和5年度文化祭特集

# 《令和 5 年度文化祭特集》

10月28日（土）、文化祭を開催しました。実に4年ぶりの入場制限のない文化祭で、168名もの保護者の皆様に来校いただき、会場も満員となりました。生徒たちもこれまでの練習の成果やその想いを会場の皆さんに届けようと、緊張感のある中でしたが、精一杯頑張り、素晴らしいステージを見せてくれました。

## 【校内人権弁論大会】

最初のプログラムは、校内弁論大会。審査は、多可町人権擁護委員の皆さんにお世話になりました。また、ライオンズクラブの皆さんからは、弁士一人ひとりに盾もご用意いただきました。5人の弁士が「いじめ」「友達」「環境問題」「LGBTQ」「ジェンダー」といったテーマについて、語ってくれました。それぞれ素晴らしい表現力でしたが、特に3年生は堂々たる弁論ぶりで、感心しました。弁士のみなさんの普段知ることのできない一面を知ることでもでき、何より真っすぐな人権感覚が育っていることを嬉しく思いました。様々な人権課題について新たな気づきがあり、深く考える良いきっかけとなりました。



弁論題目	弁 士	
わたしのクラス		優秀賞
本当の友達		
一人ひとりの配慮が環境を変える		
自分らしく		最優秀賞
青と赤		

## 【合唱発表】

メインプログラムである「学年合唱発表」と「全校合唱」、ともに素晴らしかったです。緊張感を乗り越え、練習の成果を存分に発揮してくれました。みんながこの合唱コンクールに向けて「本気」で取り組んできたのがよくわかりました。

1年生は、みんな緊張しつつも、持てる力を精一杯発揮していました。合唱に向かう素直な気持ちが元気のよい合唱に表れていました。2年生は、去年とは見違えるぐらいに上手になっていて、とても驚きました。「やるときはやる」のが2年生の良いところですね。来年が楽しみです。3年生は、さすがですね。圧巻の声量と美しいハーモニー。歌い出した瞬間に、上手いなと感心しました。まさに中学校3年間の合唱の集大成にふさわしい出来映えでした。

そして、全校合唱の「いのちの歌」。しっとりとしたメロディとメッセージ性の強い歌詞です。素晴らしい合唱を聴くと、ぐっと胸が熱くなることがあります。時には自然と涙が出ることがあります。今回のみなさんの合唱はまさにそんな合唱でした。みんなで創り上げた、みんなの想いのこもった合唱。素晴らしかったです。

全校生114名という小さな学校ですが、小さくともキラリと光る心のこもった合唱を創り上げてくれました。

	クラス	曲 名	指揮者	伴奏者
1	1年生	My Own Road		
2	2年生	時の旅人		
3	3年生	ひとつの朝		
4	全校合唱	いのちの歌		



## 【有志演技・校内展示】

次に有志演技。今年はギター演奏と歌、ダンスでした。忙しい学校生活の中、練習を積み重ね、みんなを大いに楽しませてくれました。生徒会のメンバーも工夫を凝らした演出と進行で、大いに盛り上げてくれました。人権弁論や合唱の時とは打って変わったリラックスムードの中、大いに楽しみ笑顔あふれる時間となりました。また、校内展示は、各教科で作成した力作ぞろいで見応え充分。普段の授業での頑張りがよく伝わってきました。

## 【吹奏楽部演奏】

最後のプログラムは「吹奏楽部の演奏」。曲目は、あいみょんメドレー、シンデレラガール、2022年J-POPベストヒッツスペシャルメドレー、ジャンボリミッキー。3年生にとって最後のステージということで、これまで培った全ての力を出し切った演奏だったと思います。誇らしく堂々とソロパートを演奏している一人ひとりの顔を見てみると、みんな本当にいい顔をしていました。この3年間、本当に今までよく頑張ってきたということが、



伝わってくる演奏でした。本当によくやり切りました。

## 10月の教育活動

### ＜県立北はりま特別支援学校のとの学校間交流に向けて＞

10月4日（水）、3校時に1年生が、11日（水）の学校間交流に向けて、県立北はりま特別支援学校の先生から、学校の紹介と「障がい」についての説明を受けました。「障がい」とは、生活をしていく中で、補助具（眼鏡、補聴器、車椅子、携帯電話など）を使っても、生活するのが難しい状態。「知的障害」とは、伝える、理解することが苦手であり、生活していくのに困っている状態。みんなが一人ひとり違うように、北はりまのみんなも一人ひとり違っています。北はりま特別支援学校では、一人ひとりに応じた授業が多く、みんなを支援するために先生がたくさんいます、等のお話がありました。その後、その上で、どんな支援ができるかを考えました。まずは、楽しい時間を一緒に過ごすことが大事です。11日（水）の交流会をみんなで楽しい会にしていくために、しっかりと学びました。



### ＜1年生県立北はりま特別支援学校との交流会・2年生居住地交流＞

10月11日（水）は、2、3校時に本校1年生と県立北はりま特別支援学校中学部1年生との交流会を開催しました。この日のために1年生は、何度も班長会を通じて協議を繰り返し、準備を進めてきました。今回のメニューは、パズルなぞなぞと自己紹介、ひも新聞（新聞紙を破いてできるだけ長く伸ばすゲーム）、それにマーカー返し（丸いマーカーを互いにひっくり返し合うゲーム）です。みんなで一生懸命、少しでも楽しんでもらおうと考えたものばかりです。最初こそ少し緊張していたものの、徐々にお互いに打ち解け、ゲームでもみんなの笑顔があふれ、大盛り上がりを見せました。1年生のみんなのあたたかい人柄がにじみ出る、とても素敵な会でした。また、12日（木）は、2年生が中学部に通う友達と音楽の授業を通じて、交流を行いました。文化祭に向けて今、頑張っている課題曲を一緒に歌いました。



### ＜第2回定期テスト＞

10月5日（木）、6日（金）の2日間、第2回定期テストを実施しました。これまで単元テストを通じて定期的に確認してきた学力が、きちんと身についているかを確かめる総まとめのテストになります。生徒たちは、真剣な面持ちで、集中してテストに取り組みました。2学期は体育祭や文化祭、部活動の新人大会等、大きな学校行事が目白押しです。そんな中で、いかに計画的に学習を進めていくかが求められます。上手にタイムマネジメントし、日々の学習を進めることができたでしょうか。



### ＜英語検定&漢字検定に挑戦！＞

10月6日（金）に英語検定試験を、20日（金）に漢字検定試験を、それぞれ実施しました。英検では1～3年生の10名が、5級から準2級までそれぞれの教室に分かれ、目標とし





ている級の合格を目指して受験しました。英語をコミュニケーションツールとして身につけると、世界中の人々と交流できる喜びや楽しさは広がります。準2級と3級では、今日の一次試験でリーディング・リスニング・ライティング技能を測り、通過した人のみ二次の面接式スピーキングテストを行います。

漢検では1～3年生の10名が、3級と4級に挑戦しました。漢検は、社会で通用する基礎的な漢字活用力・語彙力を身につけるのにも有効です。忙しい合間をぬって、授業の予習・復習とは別に、計画的に準備を進めてきたことは素晴らしいことです。また、自らの意志で受験を決めてチャレンジしたことに大きな価値があります。さらに、多くの生徒の受験を期待しています。

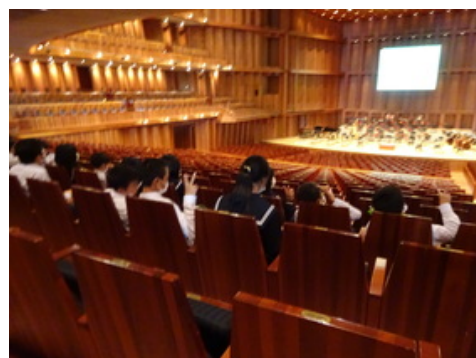
## ＜わくわくオーケストラ①（伊丹市昆虫館）＞

10月18日（水）は、1年生がわくわくオーケストラに行きました。午前中は、伊丹市昆虫館を訪問しました。昆陽池公園の北東の角に位置し、その名のとおり、昆虫を主に扱う博物館です。生きた昆虫や標本の展示をはじめ、体験型の特別展や個性的な企画展を数多く開催して、昆虫の魅力を紹介しています。中でも蝶の舞い乱れる温室は圧巻です。中に入ると、多種多様な蝶が飛び交い、時には体にとまりにきます。国語科からは、近々「少年の日の思い出」を学習するにあたり、①クジャクヤママユを探す ②標本の作り方を学ぶ ③海を渡る蝶の名前を調べる の3つのミッションが出されています。班ごとに分かれてミッションに取り組みつつ、昆虫をじっくり観察したり、発見したり、ワイワイ楽しんだり、のんびりと、心のままに昆虫館を楽しみました。見学後は、班ごとに公園でお弁当を広げ、ゆったりとした時間を過ごしました。



## ＜わくわくオーケストラ②（兵庫県立芸術文化センター）＞

午後からは、いよいよわくわくオーケストラです。生徒たちは、生のオーケストラの演奏を聴くのは初めてです。この日のために音楽の授業でも、オーケストラの鑑賞の仕方やそのマナーについて学んできました。音楽科から課された学習プリントを片手に、演奏会に臨みました。最初は、楽器紹介です。弦楽器5種類、木管楽器5種類、金管楽器4種類、打楽器4種類と、実に18種もの楽器を一つ一つ演奏しながらその特徴を紹介されました。そして、いよいよ演奏開始です。曲目は、ヨハンシュトラウスⅡ世の「トリッチ・トラッチ・ポルカ」に始まり、チャイコフスキーの「交響曲第5番」、ストラヴィンスキーの「組曲 火の鳥」。約70名近いオーケストラによる大迫力の演奏を、まさに体全体で聴きました。そして、最後は「ふるさと（嵐）」です。拍手と手拍子により、会場全体がオーケストラと一体となって楽しみました。



## ＜ふれあい天文学＞

10月25日（水）、5・6校時に全校生が「ふれあい天文学」講座を受けました。講師は、東京にある国立天文台の特任専門員である米谷夏樹先生です。米谷先生は東京生まれの東京育ちです。しかし、祖父母が加古川に住まっていたこともあり、滞在型市民農園であるフロイデンハ千代の別荘に長期休業中は、よく遊びに来られていたそうです。その当時の写真も見せてもらいました。最初は、太陽クイズにはじまり、100年を超える太陽の長期観測、超高温であるコロナ大気、太陽のフレア（爆発）の影響等、太陽にまつわるお話を聴きました。後半は、

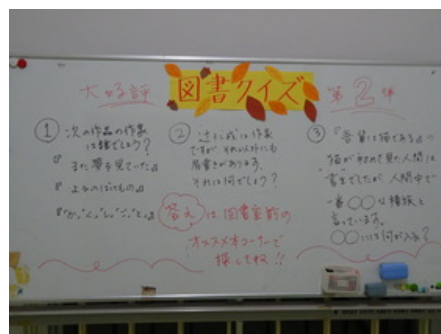


「Mitaka」という3D天体シミュレーターを使って、宇宙空間から観た宇宙について、まるで宇宙旅行に行っているかのように紹介してもらいました。太陽系の星、様々な星座に始まり、銀河系、天の川、星雲、ブラックホールのお話とどんどん話題が膨らんでいきました。スケールの大きな話に圧倒されながらも、最後の質問タイムでは「ブラックホールってどうやってできるのか?」「星の数は、全部でどれぐらい?」「一番大きな星、いちばん小さな星の大きさは?」「星はどうやってできるの?」とたくさんさんの質問が出ました。きっと、宇宙や星に興味を持ってくれたことでしょう。また、自分が研究者になるまでの経緯などを含めて、キャリア教育の視点からも有意義なお話をたくさんしていただくなど、楽しく学びの多い時間を過ごすことができました。

## ＜図書室においでよ!＞

### 【大好評! 図書クイズ第2弾!!】

図書室前のホワイトボードに、図書クイズの第2弾が掲示されています。図書館司書のGさんが、少しでも本に興味を持ってもらおうと企画してくださったものです。階段を上り下りする度に、ちょっと立ち止まって思わずクイズに引き込まれてしまいます。ちなみに今回のクイズは、①次の作品の作者は誰でしょう?『また夢を見ていた』『よるのばけも』『か』『く』『し』『ご』『と』『』 ②辻仁成は作家ですが、それ以外にも肩書きがあります。それは何でしょう? ③『我が輩は猫である』の猫が初めて見た人間は“書生”でしたが、人間中で一番〇〇な種族といっています。〇〇には、何が入る? 答えは、図書室前のオススメ本コーナーで探すと見つかります。ぜひ、図書室に立ち寄って下さいね!



### 【ハロウィン企画】

10月26日(木)、図書室の「ハロウィンクイズ」の企画が催されました。これは、図書室に少しでも親しんでもらおうと図書館司書のGさんが企画されたもので、図書室のハロウィンの飾り付けをお題にしたクイズを3問出題し、全問正解した人には、抽選でハロウィンにちなんだプレゼントがもらえるというものです。多くの投票があり、31日の放課後には抽選会があり、プレゼントを受け取った生徒たちは大喜びでした。



## 表彰の記録

### ○令和5年度多可郡理科自由研究作品

#### 【多可町教育長賞】

3年生 「足の数と歩き方の関係」

#### 【東播理科部会長賞】

3年生 「除草剤の倍率が変わると・・・」

#### 【入選】

1年生 「うがい薬でビタミンCを調べる」  
「身の回りの物質について」  
「カッテージチーズはどうやってできるのか」  
2年生 「コクワガタの飼育」  
「野菜のDNAを取り出そう!」  
「ラムネの吸熱反応」  
3年生 「気圧の変化」



## ○令和５年度兵庫県中学校総合文化祭展覧会

【特選】 ２年

【入選】 ３年

２年生

## ○第７５回兵庫県幼・小・中造形教育展

（絵画）【入選】 ３年

２年

（書道）【特選】 ３年

## ○みなぎの書道展

【さざんか賞】 ３年

## ○多可町子ども作品展出展者

（書道の部）

１年

２年

３年

（図画の部）

１年

２年

３年



## おれ

## ○資源ゴミ回収のお礼

１０月２１日（土）、午前８時より資源ゴミ回収を、旧小学校３校区に分かれて実施しました。時間は短いのですが、一気に新聞紙、雑誌、段ボール、衣類等などが集中して集まるため、その間中学生は休む間もなく大忙しです。今回は衣類が多かったです。自分から仕事を見つけて次々と積極的に働こうとする姿は見ていて気持ちが良いものです。こういったときこそ、人柄が出ますね。短い時間でしたが、一生懸命に働き清々しい気持ちで作業を終えました。中学生の皆さん、地域の皆様、保護者の皆様、早朝よりご協力ありがとうございました。



## ○オープンスクールのお礼

１０月２５日（水）、２６日（木）とオープンスクールを開催しました。久しぶりのオープンスクールということもあり、平日ではありましたが、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、授業で頑張る生徒たちの姿、元気な休み時間の様子を観ていただきました。「活発（な姿を見られて、）楽しく参観致しました」「みんな楽しく、思い思いにのびのびと授業をしていた」「久しぶりの参観で、子どもたちがとても成長してくれているのがわかった」「孫の成長が家庭では見られない姿が見られた。また、たのもしく感じた。」等の感想もいただいております。今後も、是非お越しいただき、生徒たちの学校生活をご覧下さい。また、お気づきのことがございましたら、お手数ですが学校までお知らせいただけると、ありがたいです。





# 令和5年度東播地区新人体育大会結果

## 《野球》

会場：アラジンスタジアム(加西市) ※10/7(土)

1回戦	中町・加美・八千代連合 1-8 善坊中
-----	---------------------



## 《男子ソフトテニス》

会場：吉川総合公園

(個人戦) ※10/8(日)

ペア・・・2回戦惜敗

ペア・・・1回戦惜敗

ペア・・・1回戦惜敗

(団体戦) ※10/9(月)

1回戦	八千代中 0-3 松陽中
-----	--------------



## 《女子ソフトテニス》

会場：吉川総合公園

(個人戦) ※10/8(日)

ペア・・・1回戦惜敗

ペア・・・1回戦惜敗



## 《ソフトボール》

会場：ガルテン八千代 ※10/14(土)

1回戦	八千代中 2-7 三木東中
-----	---------------



## 《サッカー》

会場：加古川市日岡山公園 ※10/14(土)

1回戦	中町・加美・八千代連合 (不戦勝) 自由が丘中
2回戦	中町・加美・八千代連合 1-8 大久保中

